

## 満月と海—アカテガニ

—生命の神秘や大自然の摂理に畏敬の念をもつ—

- 1 学 年 第6学年〔中期〕  
 2 主題名 畏敬の念〔3—（3）〕  
 3 ねらい

アカテガニの産卵の話を、見たり聞いたりした「わたし」の気持ちを考えることを通して、大自然の摂理に感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもとうとする心情を育てる。

- 4 資料名 「満月と海—アカテガニ」  
 5 展 開

	学習活動と主な発問	児童の反応	指導上の留意点
導 入	1 アカテガニについて知っていることを発表する。 ○ このカニを見たことがありますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校でくつ箱の後ろから出てきたのを見たことがある。</li> <li>・ はさみが赤い。</li> </ul>	○ 写真を提示し、知っていることを自由に発言させることで資料に興味をもたせる。
展 開	2 資料「満月と海—アカテガニ」を読んで話し合う。 ○ 先生からアカテガニの話聞き、うつむいて黙っている「わたし」はどんなことを考えたでしょう。 ○ アカテガニの産卵している姿を見て言葉を失った「わたし」はどんな気持ちだったでしょう。 ◎ 満月やその光に照らされた海を見つめている「わたし」はどんなことを考えたでしょう。 3 自分の経験を振り返る。 ○ 生命の神秘や人間の力を超えた自然の美しさに感動したことはありますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何も知らずにアカテガニを追い払って悪かったな。</li> <li>・ 卵を抱えたカニだったんだ。かわいそうなことをしたな。</li> <li>・ すごい。体を震わせて産卵している。</li> <li>・ たくさんのアカテガニが懸命に卵を放っている。</li> <li>・ 自然って不思議だな。</li> <li>・ 人間の力が届かないところで地球の生物は生きているんだな。</li> <li>・ 二酸化炭素を吸って酸素を出してくれる森林の力ってすごいな。</li> <li>・ 海の潮の流れが変わる時の渦に驚いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 状況把握を容易にするため、資料は分割提示する。</li> <li>○ 何も知らずアカテガニを追い払おうとした自分はずかしく思う「わたし」の気持ちを捉えさせる。</li> <li>○ 興味をもったアカテガニの産卵を見て感動している「わたし」の気持ちを捉えさせる。</li> <li>○ ワークシートを活用することにより、大自然の摂理や生命の神秘について考えさせ、人間としての在り方についても見つけさせる。</li> <li>○ 教科で学習したことや日記等の児童の気付きを紹介することで、人間の業を超えた感動を共有させる。</li> </ul>
終 末	4 「もみじ—東山魁夷」の絵画等を鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本当のもみじのようできれいだ。</li> <li>・ 自然がつくる世界は圧倒させられるなあ。</li> </ul>	○ BGMを流しながら四季折々のもみじの写真と詩をスライドで提示し、価値を印象付ける。

## 6 授業の概要

### (1) 主題について

美しいものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつことは、人間としての在り方を見つめ直す上でも極めて重要である。しかし、昨今の急激な社会の変化に伴う、価値観の多様化や児童の体験不足等、児童に心から感動を与える機会が減少しているのではないかとされている。

そこで、自然を見つめさせ、生命の神秘や大自然の摂理の偉大さや不思議さを感じさせ機会を設けることは大切である。ここでは、身近な海を題材とし、月の満ち欠けによって起こる潮位の変化や、体内時計によって大潮の潮汐の時刻を知り産卵に訪れるアカテガニの神秘を感じ取らせることを通して、人間の力の及ばない自然の偉大さに対する畏敬の念を育てたい。

### (2) 自作資料活用のポイント

#### ア 実施の時期

資料は、実際にアカテガニを海辺で見ることのできる7月から9月に実施したり、自然の偉大さを感じた体験活動などがあれば、その時期に関連させたりするとよい。

#### イ 中心場面の設定について

アカテガニの産卵の様子をみた「わたし」の気持ちや、観察会の係の方や父から話を聞くことで生命の神秘さや自然の偉大さについて考える「わたし」の気持ちに共感させる活動を通して、ねらいにせまらせたい。

### (3) 指導過程の工夫

#### ア 導入の工夫

「アカテガニ」や「月光で光る海」の写真等での導入により、資料に興味をもたせたい。

#### イ 板書の工夫

「わたし」の心情を捉えやすくするために、板書で、アカテガニが海をめざすまでの山や道路、学校、海岸と場面の移り変わりが分かるように提示したり、専門的な用語は写真を添える等補足しながら提示したりする等の工夫を行いたい。

#### ウ 展開の工夫

中心発問でねらいを達成できるよう、基本発問ではアカテガニに対する「わたし」の気持ちの変化をしっかりと捉えさせたい。中心発問ではワークシートを活用すること等により、より考えが深まるようにしたい。

#### エ 終末の工夫

四季折々のもみじの写真や東山魁夷作の詩をBGM等を活用してスライドで流し、価値を印象付けるとよい。

### (4) 参考資料

大柿自然環境体験学習交流館 さとうみ科学館ニュースター「マリンライフ」  
もみじ—東山魁夷作

(波多見小学校 室朋子)